

宇久っ子

学校便りＮＯ．１０
佐世保市立宇久小学校
文責　古川（H24．6．20）

校　訓「和して学び　自立して歩む」　　一校一徳「あいさつ一番　やさしさ一番」





「なるほ堂ものがたり」６月１８日

＜劇団風の子九州からのメッセージ＞
　人は、生まれ、たくさんの人たちと関わってこそ「人間」としての成長が保障されます。
　煩わしいことではありますが、時には友だちとけんかしたり、大人から叱られたり、又は友だちとちょっぴり悪いこともしながら。そうやって自分自身を出したり抑えたり、人を受け入れたり離れたりしながら、豊かな人間関係を築く力を養うのが「子ども時代」なのでしょう。

　子どもたちは「未来」です。
　だからこそ、一度しかない子ども時代を子どもとして、一度しかない人生を人間として生きる。
　私たち大人は、そのための環境を整える視点を持って生きていく必要を感じています。

漁協の皆さん、ご指導ありがとうございました。



　今年も漁協の皆さんに、魚のさばき方をご指導いただきました。これは、「宇久・実践」の授業です。
　子どもたちは、今が旬のイサキ（３０センチ）を一人一匹ずつさばきました。
　ウロコの取り方、包丁の入れ方、内臓の処理の仕方・・慣れない手つきの子どももいましたが、最後まで頑張り、盛りつけも美しい「刺身」が完成しました。
　豆ご飯で作った「おにぎり」と一緒にみんなでおいしくいただきました。（豆は、なかよし学級で収穫しました。）
「この子どもたちの中から、将来一人でも漁師になってくれると嬉しいです。」と漁協の方はおっしゃっていました。
　宇久の未来を担うのは、宇久の子どもたちです。



お手本をよく見てください！

「宇久・実践」は、宇久地区独自の授業です。
　３つの内容を学習するように、各学年のカリキュラムが編成されています。
〇コミュニケーション・・・表現・交流、情報に関する事
〇郷土学習・・・環境・ひと・自然、伝統文化に関する事
〇ゆめ実現・・・適応、進路に関する事